



- | | |
|---|---|
| 会長
こども学科3年 濱田 葉月 さん | 体育部部长
こども学科3年 島納 千笑 さん |
| 副会長
健康栄養学科3年 山下 千晴 さん
健康栄養学科3年 蔵ヶ崎 みすず さん | 体育部副部长
ことばと文化学科2年 森園 莉子 さん |
| 書記
ことばと文化学科3年 岩満 舞 さん
ことばと文化学科3年 萩 綾音 さん | 文化部部长
こども学科2年 柿元 彩 さん |
| 会計
ことばと文化学科2年 芝 美梨 さん
こども学科2年 寶藏 彩恵 さん
看護学科2年 坂元 文香 さん
健康栄養学科2年 切手 彩乃 さん | 文化部副部长
健康栄養学科2年 玉川 美穂 さん |
| | 会計監査
看護学科2年 中野 涼 さん
看護学科2年 西 七海 さん |

平成28年度就職状況

国際人間学部

ことばと文化学科 100%

主な就職先

中国国際航空、城山観光ホテル、南日本銀行、SMBC日興証券、鹿児島水族館、コスモス薬品 など

こども学科 100%

主な就職先

県内外の小学校教諭や特別支援学校教諭、めぐみ幼稚園、心悅認定こども園、いずみ保育園、鹿児島こども病院(病棟保育)、やまびこ医療センター など

看護栄養学部

看護学科 100%

主な就職先

鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、福岡大学病院、東京医科大学病院、指宿市・鹿屋市(保健師)、県内外の養護教諭 など

健康栄養学科 100%

主な就職先

国立病院機構、人吉医療センター、市比野記念病院、川内市民病院、県内の家庭科教諭、県内の栄養教諭 など



平成30年度入試情報

※詳細は「平成30年度学生募集要項」でご確認ください。

入試区分	登録期間	面談日	出願期間	試験日	合格発表
自己推薦第I期	8/29(火)~9/8(金)	9/16(土)	10/4(水)~10/13(金)	独自試験はありません	11/1(水)
自己推薦第II期	11/20(月)~12/1(金)	12/16(土)	12/22(金)~1/9(火)	独自試験はありません	1/18(木)
公募推薦			10/20(金)~11/2(木)	11/9(木)	11/13(月)
指定校推薦					
一般入学試験第I期				2/8(木)	
大学入試センター利用試験A日程 (国際人間学部・健康栄養学科のみ)			1/9(火)~1/26(金)	2/8(木) 健康栄養学科のみ面接	2/13(火)
大学入試センター利用試験B日程			2/13(火)~2/27(火)	3/6(火) 看護栄養学部のみ面接	3/7(水)
一般入学試験第II期(国際人間学部のみ)				3/17(土)	
大学入試センター利用試験C日程 (国際人間学部・健康栄養学科のみ)			2/28(水)~3/12(月)	3/17(土) 健康栄養学科のみ面接	3/19(月)

【問い合わせ先】鹿児島純心女子大学 入試広報課

TEL/0996-23-5311 FAX/0996-23-5030 Email/exa@jundai.k-junshin.ac.jp

鹿児島純心女子大学・大学院
広報誌

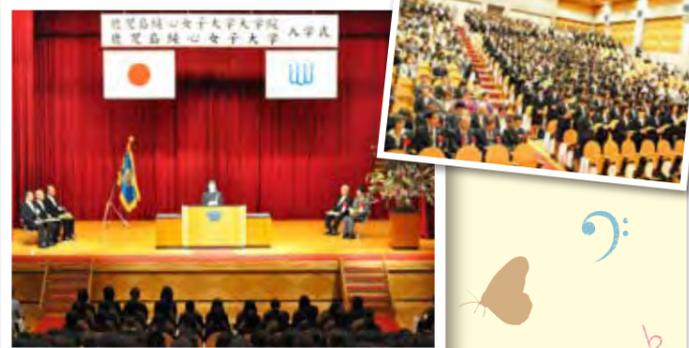
発行：鹿児島純心女子大学・大学院広報委員会
〒895-0011
鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地
TEL 0996-23-5311
FAX 0996-23-5030
http://www.k-junshin.ac.jp/jundai/

入学式

4月6日(木)、薩摩川内市副市長の知識博美様、後援会会長の矢田恭嗣様等、多数の来賓をお迎えして、入学式を挙行了しました。

聖堂での祝賀ミサに始まり、松下栄子学長は、「周りの人々をかけたがない人として大切に、感謝する心を忘れず、充実した学生生活を送ってください」と式辞を述べました。

入学式後は学科ごとのオリエンテーションも行われ、大学院生・交換留学生を含む148名が新たなキャンパスライフをスタートしました。



体育祭

学生会主催

4月29日(土)、学生会主催による体育祭が開催されました。学生同士、交換留学生や教職員間の交流を目的とし、バレーボールやドッチボールなど、各学科学年対抗の熱戦と応援が繰り広げられました。

入学して間もない1年生にとっては、お互いを知りあう楽しいひととき、先輩たちのエネルギーに圧倒された一日となったようです。



新入生交流会

5月12日(金)・13日(土)、「新入生交流会」を実施しました。

今年度は、新入生、留学生、4年生リーダーなど、計168名が参加しました。新田神社や入来麓武家屋敷群、蘭牟田池などを訪れ、入来麓武家屋敷群の見学では、入来小学校「ジュニア歴史ガイド」の4年生の児童の皆さんに、日頃の学びの成果として茅葺門や旧増田家住宅などを詳しく説明していただき、学生も熱心に耳を傾けていました。

また、宿泊先のホテルでは、留学生の紹介などの全体会と学科ごとの分科会を行い、充実した研修・交流会となりました。



クリーン作戦

学生会主催

5月23日(火)、アセンブリーの時間に学生会主催「クリーン作戦」が実施されました。

キャンパス内および大学周辺(純大通り)を学生・教職員で協力しながら清掃・窓ふき・草取り・花壇の植え替え作業を行いました。当日は晴天にも恵まれ、作業後のキャンパスはすっかり綺麗になりました。学生からは「時間いっぱい作業に取り組むことで達成感が得られ、また学生生活のいい思い出になる」などの感想が寄せられました。



ベトナムからの留学生に聞いてみました!



2人のベトナム人留学生に、
学生生活のこと、将来の夢や目標について語ってもらいました。

日本語を勉強しよう、日本へ留学しようと思ったきっかけは何ですか?

ベトナムにある日本と関係がある企業や、日系企業で働くことが将来の夢。日本語のスキルアップのためにも留学したいと思いました。

日本で働きたくて、留学しようと思いました。

2人とも、大学に入学する前から日本に留学していますが、早い時期からの留学に不安はありませんでしたか?

全然怖くなかった。元々、日本に興味があったから、行きたい! という気持ちの方が強かったと思います。

私も同じです。怖いとは思わなかったです。

日本語の中で、“聞く”“話す”“読む”“書く”のどれが一番苦手ですか?

“書く”のは難しいです。“話す”は気持ちがあれば、文法が間違っても理解してもらえるので、少し楽です。

全部苦手です。(笑)

では、大学での生活について教えてください。
鹿児島純心女子大学は二人にとってどのような印象がありますか?

高校生の時にオープンキャンパスに来たことがあるので、何となくは分かっていたけど、入学してみてもびっくりです。とても面白くて楽しいです。日本人はみんな親切で優しいので、困った時には助けてもらっています。

入学してまだ3か月だけど、雰囲気が好きです。

それと、学年に関係なく仲が良く、先生たちとの距離が近いところも好きです。

ベトナムと日本の大学について、全然違う!と驚いたことはありますか?

日本の大学では、学生の時からインターンシップや学外研修・実習など、外に出る機会がありますが、ベトナムでは基本的には卒業してから行きます。卒業後2~3年インターンシップをしてから、就職することになるので、大学入学から就職まで6年くらいかかってしまうこともあります。

なるほど。日本人とベトナム人の学生の特徴で違うと感じたことはありますか?

日本人の遠慮するところや曖昧な言い方に、まだ慣れないです。ベトナム人は、はっきりものを言うので、「~けど...」とか「~ので...」とか言わないです。

あと、日本人の人を褒めすぎるところに驚きます(笑)

最後に、純心大学に在学中に挑戦してみたいことは何ですか?

日本で、ベトナムと関係のある企業でインターンシップしてみたいですね。それと、海外ボランティアにも参加してみたいです。

今はまだ1年生なので、とにかく日本語の勉強を頑張ります! 交流会などのいろんな活動にも行ってみたいです。

それと、いつか日本人の友達をベトナムに連れて行って、本物のベトナムを紹介したいと思っています。

海外日本語教育インターンシップ体験発表会

6月27日(火)、平成28年度にオーストラリアへ日本語教師アシスタントとして派遣されたことばと文化学科の学生による「海外日本語教育インターンシップ体験発表会」が開催されました。

オーストラリアで過ごしたおよそ10か月間の体験を学生はそれぞれプレゼンテーション形式で発表しました。日本語教師のアシスタントとして外国人に日本語を教える難しさと奥深さを体感し、生徒・ホストファミリーなど現地の方々との交流を通して文化の違いを学ぶなど、学生にとっては貴重な10か月間となったようです。



学生インタビュー

教員を目指して..... Interview



こども学科4年
黒田 彩華さん

小 学校教員を目指して頑張っている4年生に、その体験談を話してもらいました。

Q. 教員を目指すきっかけ、教員という仕事の魅力を教えてください。

“学校の先生になりたい”と思うようになったのは、小学校6年生の時、ある先生との出会いがきっかけでした。その先生は、子どもの心の変化によく気付いてくれる先生でした。私もたくさん相談にのってもらったことを覚えています。

このような先生に出会えたからこそ、勉強以外のことも教えられる小学校の先生という仕事に魅力を感じます。

Q. 特別支援学校教諭の資格取得も目指しているとのことですが、こちらの仕事についてはどのように感じていますか?

専門的な分野なので、上手く表現出来ませんが、“本気”の人にしか出来ないと思いますが、現役の先生方に話を伺うと、「こんなことが出来るんだよ」とキラキラしながら話をしてくださいます。その表情を見ると大変な仕事にも関わらず、とても楽しそうです。所属している障害児支援サークル「ちゃみりい」での活動がきっかけで、障がいがあっても“みんな同じなんだよ”と伝えたいと考えるようになりました。障がいのある人達を受け入れる社会になれば、障がいがあること、家族に障がい者がいることを恥ずかしいとは思わないはずですよ。

Q. 大学4年間の中で印象深かったことはありますか?

3年次の特別支援学校で行った介護等体験です。私が担当したクラスの中に、手足の緊張(筋肉の委縮)が強い子がいました。たった2日間の実習であったのに、最終日にそ



の子が私に向かって手を振ってくれたのです。手足を自由に動かせない子が一生懸命に手を振ってくれた姿を見た時、“こどもってすごい”と改めて実感しました。

また、教育実習で小学校3年生の割り算についての授業を担当した時の話です。どんなに教えても理解してもらえず焦る中、その子なりの割り算の解き方を一緒に見出した時に、その表情が一変して明るくなったのです。“教える”ことでこども達の成長が見える、素晴らしい体験をすることが出来ました。

Q. 将来、どのような先生になりたいですか?

“褒める”先生になりたいです。単に甘やかす、ただただ褒めるわけではなく、こどもの小さな変化に気付き、その頑張りや行いを褒めるということです。こどもにとって「この先生はよく見てくれている」と感じることは大切なことだと思います。こどもの頑張りなど“小さな変化”を褒められるようにしたいと思います。

学校の先生になる、という夢について語ってもらいました。夢実現のためにも、これからも頑張っていきたいと思います。



「基礎心理学」

「心を研究することはどういうことか」という心理学の基礎を学ぶため、こども学科1年次に「基礎心理学」を開講しています。「感覚と知覚」「記憶」「思考」「感情」「パーソナリティ」などの理論を学びながら、学生は幅広い心理学の知識を分野ごとに洞察し、心理学に大きく貢献した研究と、そこから派生した理論について説明できるようになることを目指します。



BLS (Basic Life Support:一次救命処置) の演習

看護学科2年生に開講している『クリティカルケア』という授業の中でBLSの演習を実施しています。BLSとは、Basic Life Support(一次救命処置)の略称です。一次救命処置とは、呼吸していない状態や脈の触れない状態の人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のことです。

胸骨圧迫(心臓マッサージ)の速さ、深さ、解除(リコイル)等が適切に行えているかを訓練用モデル(レシリアン)で確認しながら練習します。人工呼吸も同様に換気量(cc)が確認できます。学生は、自分の手技をスコア(%表示)で評価することができます。スコアで技術の上達を確認できます。汗をかきながら真剣に取り組んでいます。次にAED(除細動器)トレーニングも行います。AEDは、いろいろな施設に設置されていますが、実際に使用した経験のある方は多くないと思います。

いつこのような処置が必要な場面に遭遇するか分かりません。慌てずに落ち着いて胸部圧迫、人工呼吸、AEDを実施できる学生を育てるためには、学生全員が体験できる演習を実施することが重要であると考えています。教員1人が学生3名を担当し、全員がマスターできるまで丁寧に時間をかけて行っています。訓練終了後の学生は、“できた”という達成感と自信の笑顔で帰っていきます。自信がないとなかなか行動に移すことはできません。この演習が人命救助という貴重な行動につながることを願っています。



過疎高齢化地域での保健活動 -公衆衛生看護学 学外演習 in 肝付-

6月9日(金)~6月10日(土)にかけて、看護学科4年生保健師領域選択者28名が、授業の一環で肝付町学外演習を実施しました。

全国よりも過疎高齢化が進む鹿児島では、地域特性に応じた保健活動が展開されており、その中でも肝付町の保健活動や地域づくりの取り組みは全国的にも評価されています。様々な取り組みを行っている肝付町において、高齢者健康調査などのフィールドワークや現地の方々との交流を通して、住民と協働した地域づくりや地域特性に応じた保健活動について学びを深めました。



学生
レポート

「給食経営管理実習」に向けて

健康栄養学科2年生は、後期から「給食経営管理実習」という大量調理の実習が始まる。給食の実習は「特定多数の人々を対象に継続的に食事を提供する」ことを目的とし、一連の流れに沿って作業を役割分担する。また、調理だけでなく、管理栄養士に必要な給食経営の考え方や方法を学び、検食・保存食といった専門的な知識や技術などを学ぶ。大量調理の実習で最も大変なことは献立作成で、予算内で嗜好的にも満足度の高い献立にするため変化をつけることも大切だ。

先日、初めて3年生の「給食経営管理実習」で提供された給食を試食した。料理が盛られたトレーを受け取った時、料理の鮮やかさと品数の多様さ、全ての食品群の食材が取り入れられたバランスのよい献立にとっても驚いた。

後期から始まる「給食経営管理実習」を通して、管理栄養士として必要なリーダー力や自ら進んで行動する力を身に付け、目配り・気配り・心配りが出来るようになりたい。そして、給食を食して下さる方々に「美味しい」と言って喜んでいただけるように、もっと学習し、知識や技術を磨こうと思う。これからも、一人ひとり丁寧に教えて下さる先生方、応援してくれる家族や周りの環境に感謝し、多くの人々に笑顔を届けられるような管理栄養士となるために、仲間たちと切磋琢磨しながら日々頑張っていきたい。

(健康栄養学科2年 玉川 美穂)



紅茶の淹れ方講座

健康栄養学科4年次にある「応用調理学実習」の一環として、6月26日(月)に南九州市知覧にある薩摩英国館の館長 田中京子氏を講師にお迎えし、紅茶の淹れ方講座を開催しました。

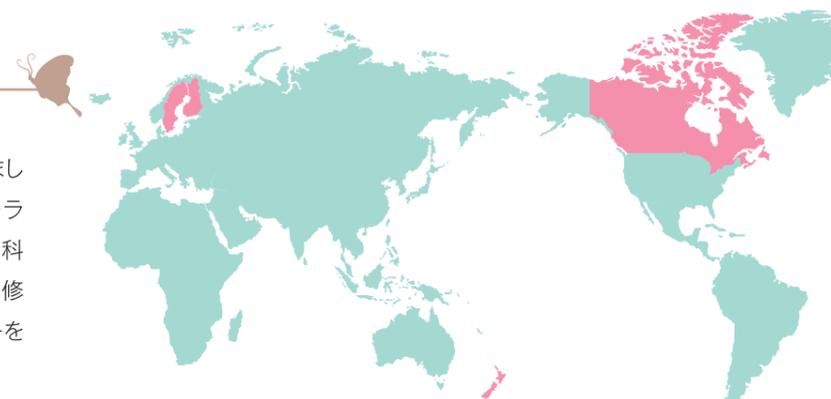
お茶にまつわる歴史や種類、機能性、また、茶摘みから焙煎に至るまでの工程やコツ等について教えて頂きました。“ベストドロップは主賓に”など紅茶の作法も一緒に学んだ学生は、学内で栽培した紅ふうぎで作った新紅茶を淹れ、味や香りを確かめ、手作りのスコーンと一緒に午後のひとときを堪能していました。



トピックス

全学科による海外研修

平成28年度は海外研修を全学科にて実施しました。ことばと文化学科・こども学科はニュージーランドへ、看護学科はカナダへ、そして健康栄養学科はフィンランドとスウェーデンでそれぞれ語学研修や視察を行いました。ここでは、海外研修の様子を紹介します。



ことばと文化学科・こども学科

2月中旬から3月中旬まで、姉妹校の長崎純心大学の学生たちと合同で、ニュージーランドで語学研修を行いました。滞在期間中はホームステイをしながら、現地のマッセー大学にて集中クラスを受講しました。学生たちは、1か月間集中して「英語のシャワー」を浴びるなど、充実した海外生活を送ることが出来ました。



看護学科

春休みの7日間、カナダのバンクーバーで病院や看護協会など4施設を視察しました。現地の看護師から医療制度や施設の歴史・特色などの講話を聞き、施設見学を行いました。その他、現地の医療従事者との交流などを通して、日本の医療制度や看護の役割などとの類似点・相違点を知るなど多くの刺激を受けることが出来ました。



健康栄養学科

北欧のフィンランドとスウェーデンの大学病院・小学校等の給食施設を訪問し、現地の管理栄養士や看護師の方々から栄養指導・集団給食・福祉行政についての研修を受けました。学生たちは現地施設での研修や北欧の伝統料理を味わうなどして、北欧の文化や価値観の違いを目の当たりにし、学び、考える良い機会となりました。



トピックス



新規サークル紹介

文化研究部

礼で始まり、礼で終わる。静かな和室に、札の飛ぶ音だけが響く…。文化研究部は、昨年12月から活動を始めたばかりの同好会です。競技カルタを主な活動にしつつ、日本に限らず世界の文化を体験することをモットーに、顧問の先生のもと部員9名で活動しています。日本に住んでいるからこそ日本の文化を知り体験していきたい、と有志が集まりました。

部員の一人は「将棋や囲碁など、これまで興味はあったが、取り組んだことはなかった。日本の伝統的な文化に触れる良い機会になっている。このサークルの良さは、何でもやってみよう、と冒険心を持った人が集まっていることだと思う。私も初心者だったが、今では競技カルタそのものが楽しいと思える。得意札も見つけられた」と嬉しそうに話してくれました。また、「競技カルタでは、個人個人の努力は不可欠。だからこそ、より良い環境で実力を磨いていくことで、チームとして成長していけるのではないかと強い意欲を見せてくれました。

(こども学科2年 柿元 彩)



「古本募金 きしゃぼん」 始めます

平成29年10月2日、「鹿児島純心女子大学古本募金」がスタートします。古本募金とは、本・DVDなどを無料で回収し、リユースを目的に換金して、その換金額が大学に寄付される仕組みのことで、申込受付から集荷・査定報告・送金は、運営協賛「古本募金きしゃぼん」に委託しています。鹿児島県内の大学では初の取り組みとなります。

皆様のあたたかいご支援を心よりお待ち申しあげております。



古本募金の流れ

- 1) 品物を箱に詰めて集荷を申込み
- 2) 査定後きしゃぼんより募金額を報告
- 3) 鹿児島純心女子大学へ寄付

募金にできるもの

- ISBN書籍コードのある本・DVD・CD
- ゲーム・スマホ・切手・はがき・商品券
- 未使用のテレホンカード・貴金属・ブランド品



詳細と具体的な方法については、10月2日より本学ホームページに掲載しますので、是非ご確認ください。

教員養成センター「教職自習室」

教員養成センターでは教職を目指す学生のため「教職自習室」を始めました。

教員養成センターの前にあるゼミ室を日時指定で開放し、学生が自習室として活用するものです。「教職を目指して」という同じ志を持つ学生同士が学科・学年を越えて、切磋琢磨しながら一層の学力向上を図ることができるよう期待しています。学生は空き時間に自習室を利用し、また、教員養成センターの教員に気軽に質問するなど、自分自身の目標に向かって努力しています。



ホームページのリニューアル

今年度4月より、本学ホームページをスマートフォンにも対応したレスポンシブデザインにリニューアルしました。学内でのイベントはもちろん、各種お知らせや情報を掲載しています。また、「受験生応援サイト」を新規に立ち上げ、情報発信を行っています。本学ホームページをチェックして、大学の「今」をご覧ください。



公式Instagram、始めました

本学入試広報課では、今年度より鹿児島純心女子大学公式Instagramを開設しました。学内のイベントや学生の活動、ちょっとした出来事や嬉しいニュースなど、写真を中心に皆様にお届けします。是非ご覧ください。

[アカウント名] k_jundai_official
[URL] http://www.instagram.com/k_jundai_official

